

## 1 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

### 1.1 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

名 称：東京都

代表者：東京都知事 小池 百合子

所在地：東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

名 称：京浜急行電鉄株式会社

代表者：取締役社長 原田 一之

所在地：神奈川県横浜市西区高島一丁目2番8号

### 1.2 代表する事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

名 称：東京都

代表者：東京都知事 小池 百合子

所在地：東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

## 2 対象事業の名称及び種類

名 称：京浜急行電鉄湘南線（泉岳寺駅～新馬場駅間）連続立体交差事業

種 類：鉄道の改良

### 3 対象事業の目的及び内容

#### 3.1 事業の目的

本事業は、京急本線の泉岳寺駅から新馬場駅間のうち約1.7km区間において、鉄道を立体交差することにより3か所の踏切を解消し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図るものである。

このうち、品川駅から新馬場駅までの約1.0kmの区間については高架化することで、道路と鉄道の連続的な立体化を図り、踏切での交通渋滞の解消、道路と鉄道のそれぞれの安全性の向上及び消防、救急等の緊急活動の円滑化を実現しようとするものである。

また、品川駅付近の約0.3kmの地平化区間については、東西連絡通路の整備などを含め、駅周辺のまちづくりを踏まえた歩行者交通処理や駅利用者などの利便性及び安全性の向上に寄与するものである。

なお、泉岳寺駅から品川駅までの約0.4kmの区間は、泉岳寺駅が地下化されているため、現在線とのすりつけ区間として地下・掘割区間を設けている。

#### 3.2 事業の内容

##### 3.2.1 位置及び区間

事業区間の位置は、図3.2-1及び図3.2-2に示すとおりである。京急本線は、国道15号の地下に位置する泉岳寺駅から東海道新幹線、東海道本線、山手線等の西側沿いを南方向に抜けて、さくら坂付近から地上に出て高架駅の京急品川駅に取り付いている。

京急品川駅から北品川駅間は、港区と品川区の区境に位置する八ツ山橋付近までは、国道15号と東海道新幹線、東海道本線、山手線等に挟まれているが、東海道新幹線、東海道本線、山手線等と立体交差した後は、国道15号沿いに市街地を通過している。

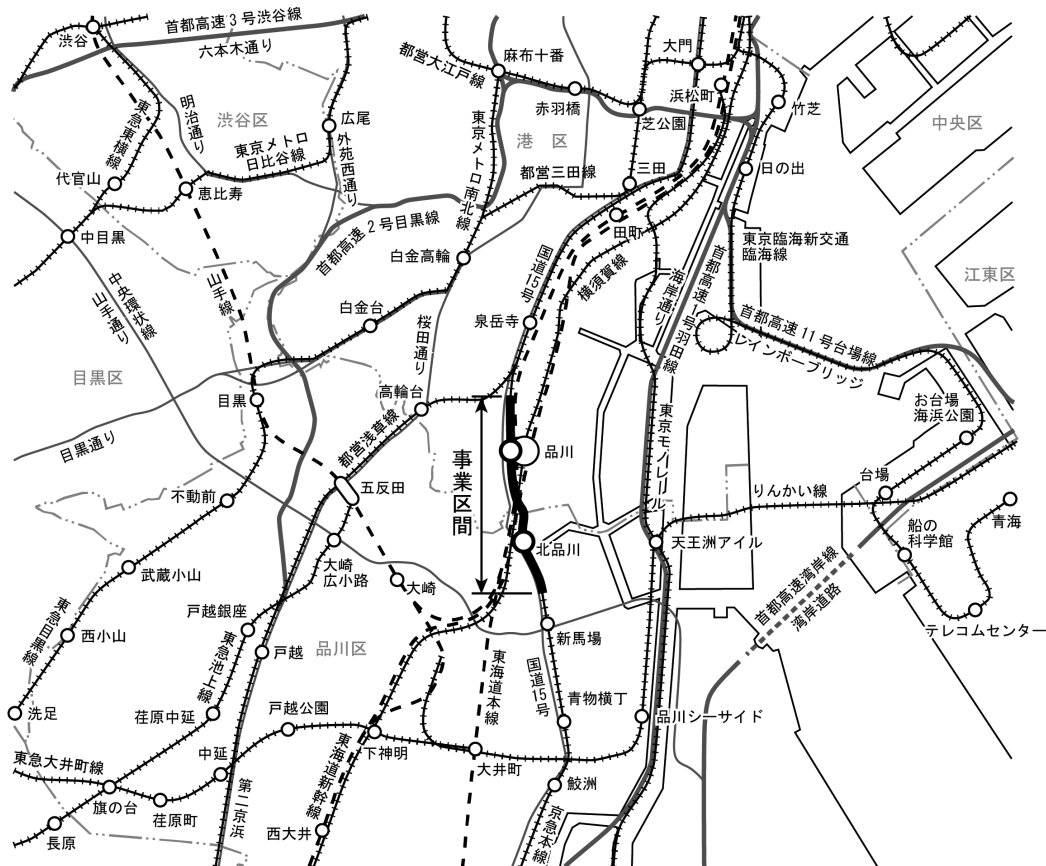


図 3.2-1 事業区間位置図（広域）

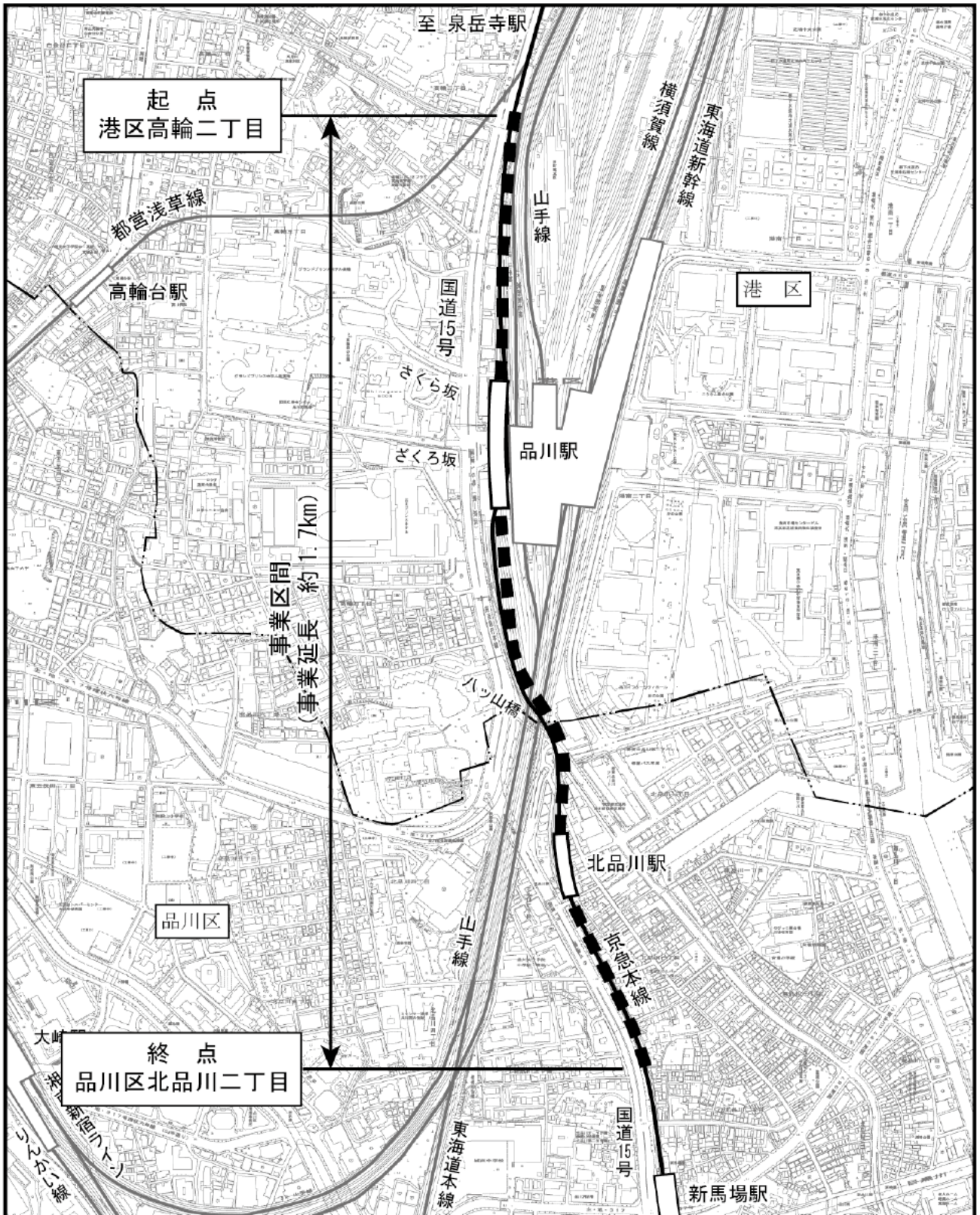




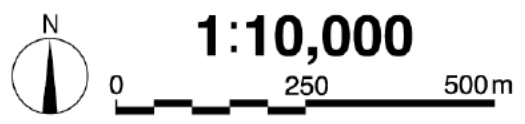


図 3.2-2 事業区間位置図(詳細)

- 凡 例
- 

 : 事業区間
  - 
 : 現在線
  - 
 : 区 界



### 3.2.2 事業計画

#### (1) 事業計画の概要

事業計画の概要は、表3.2-1に示すとおりである。

また、本事業の平面図及び縦断図は、図3.2-3に示すとおりである。

本事業は、港区高輪二丁目を起点とし、品川区北品川二丁目を終点とする延長約1.7kmの区間を連続立体交差化するものである。

構造形式は、図3.2-3に示すとおり、泉岳寺駅から品川駅で地下・掘割、品川駅付近が地平、北品川駅付近を高架橋とする計画である。

なお、踏切については、事業区間内の3か所を立体化により解消する計画である。

表 3.2-1 事業計画の概要

項目	概要	
事業区間	起点：港区高輪二丁目 終点：品川区北品川二丁目	
事業延長	約1.7km	
構造物延長	地下・掘割区間：約0.4km 地平区間：約0.3km 高架橋区間：約1.0km	
構造形式	高架橋、地下・掘割、地平	
対象駅	品川駅、北品川駅	
立体化による踏切解消数	3か所	
※1 運転計画	編成車両数	4両編成（18m/両） 6両編成（18m/両） 8両編成（18m/両） 12両編成（18m/両）
	運転方法	上り線1線、下り線1線、引上線※2線
	運転本数	朝方ラッシュ時最大（上下線） 48本/時 終日上下線 750本/日

※1：運転計画は、現況と変わらない内容を想定している。

※2：引上線は、駅で車両の折返しを行う目的で設けられた線路